

## 学部・大学院・特別専攻科 Faculties, Graduate Schools, Postgraduate Course

### 学部 Faculty

| 学部  | 学科  | コース・科目  |
|---|---|---|
| 教育学部<br>Faculty of Education              | 学校教育教員養成課程<br>Teacher Training                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育科学コース<br/>Education Science Course</li> <li>・教科教育コース<br/>Subject Teaching Course</li> <li>・児童教育コース<br/>Primary Education Course</li> </ul>  |
|   | 総合教育課程<br>Comprehensive Education                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化研究プログラム<br/>Program in Cultural Studies</li> <li>・環境教育プログラム<br/>Program in Environmental Education</li> </ul>   |
| 経済学部<br>Faculty of Economics              | 経済学科<br>Department of Economics                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済社会理論科目群<br/>Socio-Economics</li> <li>・政策科学科目群<br/>Economic and Social Policy</li> <li>・応用社会分析科目群<br/>Applied Socio-Economic Analysis</li> </ul>   |
|   | ビジネスマネジメント学科<br>Department of Business Management               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・マネジメント科目群<br/>Management</li> <li>・会計科目群<br/>Accounting</li> <li>・情報科目群<br/>Information Technology</li> </ul>   |
|   | 市場環境学科<br>Department of Market and Environment                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・流通システム科目群<br/>Commercial System</li> <li>・経済環境科目群<br/>Economic Environment</li> <li>・法律科目群<br/>Law</li> </ul>   |
| システム工学部<br>Faculty of Systems Engineering | 情報通信システム学科<br>Department of Computer and Communication Sciences | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報処理システム<br/>Media and Information Systems</li> <li>・情報通信ネットワーク<br/>Information and Communication Network</li> <li>・知能情報処理<br/>Artificial Intelligence and Knowledge Engineering</li> </ul> |
|   | 光メカトロニクス学科<br>Department of Opto-Mechatronics                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・精密機械<br/>Micro-Mechanical System</li> <li>・電子制御<br/>Mechatronics and Control</li> <li>・光電計測<br/>Optoelectronic Instrumentation</li> </ul>   |
|   | 精密物質学科<br>Department of Material Science and Chemistry          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・先端物質科学<br/>Advanced Material Science</li> <li>・応用精密化学<br/>Organic Material Chemistry</li> </ul>   |
|   | 環境システム学科<br>Department of Environmental Systems                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境計画<br/>Environmental Planning</li> <li>・自然環境システム<br/>Ecological Planning and Technology</li> </ul>  |
|   | デザイン情報学科<br>Department of Design and Information Sciences       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータ支援設計<br/>Computer Aided Design</li> <li>・メディア情報設計<br/>Media Information Design</li> <li>・デザイン基礎学<br/>Design Fundamentals</li> </ul>   |
| 観光学部<br>Faculty of Tourism                | 観光経営学科<br>Department of Tourism Management                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光マネジメントコース<br/>Tourism Management</li> <li>・観光マーケティングコース<br/>Tourism Marketing</li> </ul>  |
|   | 地域再生学科<br>Department of Regional Revitalisation                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光まちづくりコース<br/>Tourism &amp; Regional Revitalisation</li> <li>・観光文化コース<br/>Tourism &amp; Culture</li> <li>・観光コンテンツコース<br/>Tourism &amp; Contents</li> </ul>                                 |

＜学部・課程の教育目的＞

学部は、教育と関わる職業人の養成を目的とし、学校教育教員養成課程では、人間と教育、科学や芸術に関する専門的知識と教育実践力を備えた教育に関わる人材を養成し、総合教育課程では、文化と環境についての幅広い知識を備え、それを活かして社会の様々な教育関連の仕事に携わる、豊かな教養のある人材を養成する。(教育学部規則 第1条の2)

|  |  |
|--|--|
| 学校教育教員養成課程<br>Teacher Training<br>・教育科学コース Education Science Course<br>・教科教育コース Subject Teaching Course<br>・児童教育コース Primary Education Course | 総合教育課程<br>Comprehensive Education<br>・文化研究プログラム Program in Cultural Studies<br>・環境教育プログラム Program in Environmental Education |
|--|--|

**時代が求める教育者を育成。**

～実践を重視したカリキュラムで、教育現場に求められる素養を身につけます。～

全国有数の優れた教員就職実績を誇る教育学部では、教育現場に求められる専門知識と実践的な素養を備えた教育者の育成に取り組んでいます。附属の小、中、特別支援学校をはじめ、実際の教育現場で学ぶ機会がきわめて豊富で、山間・へき地が多い和歌山ならではの「へき地・複式教育実習」など、特色ある取り組みも盛んです。また、教員免許状取得を卒業要件としない総合教育課程もあり、教育学部では、多様な分野に対応したカリキュラム、各分野の専門家である教員を備えており、さまざまな分野に触れてから自分が専門的に学びたい分野を選べるのも大きな特色です。

＜学部の教育目的＞

学部は、広い視野と専門領域に応じた基礎学力及び経済社会を体系的に理解できる能力をもち、経済社会のさまざまな問題を真摯に受け止め、的確に判断し創造的・実践的に対応できる人材を養成することを目的とする。(経済学部規則 第1条の2)

|  |  |
|--|--|
| 経済学科<br>Department of Economics<br>・経済社会理論科目群 Socio-Economics<br>・政策科学科目群 Economic and Social Policy<br>・応用社会分析科目群 Applied Socio-Economic Analysis | (学科の教育目的)<br>経済学科は、経済現象とそれを生み出すメカニズムを分析するとともに、経済現象と社会的文化的諸現象との相互の結びつきを分析して、現代社会が抱える多様な諸問題を解明するための研究と教育を行い、幅広い視野に立って判断し行動できる創造的な人材の育成を行う。(経済学部規則 第2条の2) |
| ビジネスマネジメント学科<br>Department of Business Management<br>・マネジメント科目群 Management<br>・会計科目群 Accounting<br>・情報科目群 Information Technology                   | (学科の教育目的)<br>ビジネスマネジメント学科は、多角的な教育により、社会貢献や情報化社会への対応が求められる現代の企業において、時代の変化に応じ、組織原理や経営行動の創造的変革に対応できる人材の養成を目指す。(経済学部規則 第2条の2)                              |
| 市場環境学科<br>Department of Market and Environment<br>・流通システム科目群 Commercial System<br>・経済環境科目群 Economic Environment<br>・法律科目群 Law                      | (学科の教育目的)<br>市場環境学科は、市場及びそれを取り巻く環境について、流通・経済・法律・情報・文化等の各分野から多角的に考察・研究することを通じ、市場のシステムを把握し、市場の動きを予測できる冷静かつ柔軟な思考力と判断力等の能力を有する人材の育成を目指す。(経済学部規則 第2条の2)     |

**経済で「世界」を読み解く。**

～経済学的な視点から社会を分析し、未来を切り開く力を養います。～

経済について理解を深めることは、ビジネスに強くなるだけではなく、社会の全体像への理解を深めることにつながっています。和歌山大学経済学部では、経済学科、ビジネスマネジメント学科、市場環境学科という3つの学科を設け、さまざまな角度から現代社会の課題にアプローチします。社会のあらゆる分野で活用することができる知識とスキル、そして経済学的な考え方を習得することができます。また、近年のグローバル化、高度情報化にいち早く対応し、国際的な視点に立った教育、情報技術を習得する授業などが充実しています。

## システム工学部 Faculty of Systems Engineering

### <学部の教育目的>

システム工学は、科学技術相互の関係を解き明かし、個々の要素技術を調和・融合することによって、新しい産業や研究分野を開拓し、幅広い工学的な問題を解決する学問である。

システム工学部の教育目的は、複数の領域の知識を身につけ、その知識を自ら活用することで、創造性を発揮し、様々な人とのコミュニケーションを通して、課題の探求と問題解決を行い、自然や人間社会に貢献できる専門的技術者・研究者を養成することにある。(システム工学部規則 第1条の2)

|   |  |
|---|--|
| <b>情報通信システム学科</b><br>Department of Computer and Communication Sciences<br>・ 情報処理システム Media and Information Systems<br>・ 情報通信ネットワーク Information and Communications Network<br>・ 知能情報処理 Artificial Intelligence and Knowledge Engineering | (学科の教育目的)<br>情報通信システム学科は、情報通信に関する基礎知識やプログラミング技術、問題発見・解決能力、英語の能力、プレゼンテーション能力、技術者倫理の習得をはじめ、幅広い領域の知識を身につけた人材を育成することを目的とする。(システム工学部規則 第1条の2 第2項) |
| <b>光メカトロニクス学科</b><br>Department of Opto-Mechatronics<br>・ 精密機械 Micro-Mechanical System<br>・ 電子制御 Mechatronics and Control<br>・ 光電計測 Optoelectronic Instrumentation  | (学科の教育目的)<br>光メカトロニクス学科は、最先端機器を構成するために不可欠な要素技術や応用技術を講義や実験を通して教育することで、複合的な応用力・実践力を身につけたエンジニアを育てることを目的とする。(システム工学部規則 第1条の2 第3項)                |
| <b>精密物質学科</b><br>Department of Material Science and Chemistry<br>・ 先端物質科学 Advanced Material Science<br>・ 応用精密化学 Organic Material Chemistry  | (学科の教育目的)<br>精密物質学科は、物質に関する基本的法則から先端的知識までを学ぶとともに研究開発に関する基礎技術と健全な物質観・倫理観を身につけた技術者・研究者を育成することを目的とする。(システム工学部規則 第1条の2 第4項)                      |
| <b>環境システム学科</b><br>Department of Environmental Systems<br>・ 環境計画 Environmental Planning<br>・ 自然環境システム Ecological Planning and Technology  | (学科の教育目的)<br>環境システム学科は、ひと、まち、山林、河川などをフィールドとした実践的な演習を重視したカリキュラムのもとで、確かな基礎力と豊かな応用力のある環境エンジニアを育成することを目的とする。(システム工学部規則 第1条の2 第5項)                |
| <b>デザイン情報学科</b><br>Department of Design and Information Sciences<br>・ コンピュータ支援設計 Computer Aided Design<br>・ メディア情報設計 Media Information Design<br>・ デザイン基礎学 Design Fundamentals  | (学科の教育目的)<br>デザイン情報学科では、最新の情報科学とヒューマンサイエンスの教育と研究を通じ、情報とデザインの融合による新しい可能性を探求するとともに、豊かな感性と論理的思考能力を備え国内外で活躍できる人材を育てる。(システム工学部規則 第1条の2 第6項)       |

### 複合的な研究分野から、未来を切り開くエンジニアへ。

システム工学部では複合的な分野を研究する5つの学科から、既存の枠組みにとられない領域にアプローチします。技術、社会、環境、人間の調和をはかるシステム技術を創造し、現代社会の多様な工学領域で即戦力となるエンジニアを育成します。

## 観光学部 Faculty of Tourism

### <学部の教育目的>

学部は、今日の観光を支えるにふさわしい幅広い教養、日本文化に対する理解と知識、ITスキル、そして高度な外国語運用能力をバランス良く備えた人材の育成を目的とする。(観光学部規則 第1条の2)

|  |   |
|--|---|
| <b>観光経営学科</b><br>Department of Tourism Management<br>・ 観光マネジメントコース Tourism Management<br>・ 観光マーケティングコース Tourism Marketing  | (学科の教育目的)<br>観光経営学科は、観光産業や関連集客交流産業のリーダーとして活躍する人材を育成する。(観光学部規則 第2条の2)      |
| <b>地域再生学科</b><br>Department of Regional Revitalisation<br>・ 観光まちづくりコース Tourism & Regional Revitalisation<br>・ 観光文化コース Tourism & Culture<br>・ 観光コンテンツコース Tourism & Contents | (学科の教育目的)<br>地域再生学科は、観光資源の開発や地域を再生・創造するプランナーとして活躍する人材を育成する。(観光学部規則 第2条の2) |

### 観光のエキスパートを育成。

### ～和歌山という地の利を活かし、新しい観光学を創造します。～

近年、わが国は「観光」を戦略産業と位置づけ、観光立国に向けて官民一体で取り組んでいます。和歌山県においては、「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録で、国際的に注目を集めるなか、「観光立国宣言」を掲げ、「観光」を核とした地域再生に積極的に取り組んでいます。和歌山大学観光学部はこれら恵まれた環境を活かし、全国、そして世界をフィールドに、観光産業・行政の現場と密接に連携した新しい観光学を創造します。また、観光を支えるにふさわしい豊かな教養と専門性を備えたエキスパートを育成します。

## ○大学院 Graduate Schools

| 研究科   | 課程・専攻  |
|---|--|
| 教育学研究科<br>Graduate School of Education              | 修士課程 Master's Programs<br>・学校教育専攻 Course Specializing in General School Education<br>・教科教育専攻 Course Specializing in Individual Subject Education                                     |
| 経済学研究科<br>Graduate School of Economics              | 修士課程 Master's Programs<br>・経済学専攻 Course Specializing in Economics<br>・経営学専攻 Course Specializing in Business Administration<br>・市場環境学専攻 Course Specializing in Market and Environment |
| システム工学研究科<br>Graduate School of Systems Engineering | 博士前期課程 Master's Programs<br>・システム工学専攻 Course Specializing in Systems Engineering<br>博士後期課程 Doctoral Programs<br>・システム工学専攻 Course Specializing in Systems Engineering                 |
| 観光学研究科<br>Graduate School of Tourism                | 修士課程 Master's Programs<br>・観光学専攻 Course Specializing in Tourism  |

## ○専攻科 Postgraduate Course

|  | 課程・専攻                            |
|--|----------------------------------|
| 特別支援教育特別専攻科<br>Course of Special Support Education | 発達障害教育専攻 Developmental Disorders |

### 教育学研究科 Graduate School of Education

|   |   |
|---|---|
| 教育学研究科<br>Graduate School of Education<br>修士課程<br>Master's Programs<br>・学校教育専攻<br>Course Specializing in General School Education<br>・教科教育専攻<br>Course Specializing in Individual Subject Education | <研究科の教育目的><br>研究科は、学術文化の高度な研究能力及び教育者としての高い実践力・指導力を備えた高度専門職業人の養成を目的とする。(大学院教育学研究科規則 第1条の2) |
|---|---|

### 高度な専門知識を持つ教育実践者を養成。

特別支援教育を含めた教育全般について研究する学校教育専攻と、各教科の教育力を高める教科教育専攻の2専攻を設け、高度な専門知識と実践的な教育スキルの育成に取り組んでいます。また、人間そのものへの理解を深める教養教育も重視し、不登校やいじめといった現代的な課題に適切に対処できる力を培います。本研究科には、教育者としての人格と技量を高めたいという志を持った現役の教員も学んでいます。

### 経済学研究科 Graduate School of Economics

|  |  |
|--|--|
| 経済学研究科<br>Graduate School of Economics<br>修士課程<br>Master's Programs<br>・経済学専攻<br>Course Specializing in Economics<br>・経営学専攻<br>Course Specializing in Business Administration<br>・市場環境学専攻<br>Course Specializing in Market and Environment | <研究科の教育目的><br>研究科は、高い専門能力を持ち経済社会において指導的役割を担える人材、優れた分析能力に基づいて戦略的意思決定を担う高度な専門的職業人、及び厳密な学問方法論や幅広い見識を身につけた研究職従事者を育成するとともに、一層のキャリア・アップを目指す社会人或いは職業人及び将来諸外国との架け橋となるべく期待される留学生を積極的に受け入れ、それらに相応しい専門教育を提供することを目的とする。(大学院経済学研究科規則 第1条の2) |
|--|--|

### 学識に裏付けられた高い専門能力で指導的役割を担う人材を養成。

経済学専攻・経営学専攻・市場環境学専攻の各専門的分野の研究を深めることと並んで、高度な専門的知識と能力を有する専門職業人を養成・再教育することを目指しています。

## システム工学研究科 Graduate School of Systems Engineering

|   |   |
|---|---|
| <p>システム工学研究科<br/>Graduate School of Systems Engineering</p> <p>博士前期課程<br/>Master's Programs</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム工学専攻<br/>Course Specializing in Systems Engineering</li> </ul> <p>博士後期課程<br/>Doctoral Programs</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム工学専攻<br/>Course Specializing in Systems Engineering</li> </ul> | <p>&lt;研究科の教育目的&gt;<br/>システム工学は、さまざまな工学技術の集積と複合によって成るシステムを対象とする工学である。<br/>したがってその重心は二つある。ひとつは個別要素技術を学び進歩させること、もうひとつはそれらに共通した概念の理解によって、システム全体の連携と調和をはかる方策を学び研究することにある。<br/>しかも原理、理論の追求に終わることなく、応用と実践の方法を求め、それを実際に適用する実学の姿勢を貫く。(大学院システム工学研究科規則 第1条の2)</p> <p>研究科博士前期課程は、社会からの複数の分野を理解し活用出来る人材の求めに応じるため、従来の工学のような狭い専門分野を深く追求するだけでなく、広い視野から時代の要請に応え、それらを解決できる新しいタイプの研究者や技術者を養成する。(大学院システム工学研究科規則 第1条の2 第2項)</p> <p>研究科博士後期課程は、より複雑な要因からなる課題とその周辺状況の全体を把握し、目的・目標を的確に設定して、部分問題への展開及び個別解決の再統合ができるような能力を開発し、システム工学の頂点を究め、社会環境の改善と技術立国の推進に資することを目的とする。(大学院システム工学研究科規則 第1条の2 第3項)</p> |
|---|---|

### 先端性の高い、また領域横断の研究を通して、より「人間力」の高いエンジニアを養成。

大学院は普通、学科の上に専攻と呼ぶ固定的な組織を積み上げるものですが、本研究科ではもっとしなやかに教育研究グループを構成できる仕組みになっています。

学部より先端性の高い大学院では、特定の目標に焦点をあわせた研究を推進することも、新たな発想を領域横断で追求することも、同時に求められます。本研究科では既定の枠組みにとらわれることなく、その両方を実現しています。このような教育研究環境のなかで、より「人間力」の高い人材を社会に送り出します。

## 観光学研究科 Graduate School of Tourism

|  |   |
|--|---|
| <p>観光学研究科<br/>Graduate School of Tourism</p> <p>修士課程<br/>Master's Programs</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光学専攻<br/>Course Specializing in Tourism</li> </ul> | <p>&lt;研究科の教育目的&gt;<br/>研究科は、観光まちづくり等に従事する理論的、実務的な教育を受けた専門的職業人の育成を主な目的とするとともに、この分野において高い専門知識を持ち、応用力、創造力そして人間性に富み、国際的視野で行動できる人材を育成することを目的とする。(大学院観光学研究科規則 第2条)</p> |
|--|---|

### 観光に関する高度な専門性と学際性をもつ人材を育成。

観光学の全体像の習得を前提に、観光経営・地域再生・観光文化の3つの領域において、そのいずれかに精通しつつ高度な専門性を獲得でき、かつ全体に目配りした学際的・汎用的な能力を養います。

## 特別支援教育特別専攻科 Course of Special Support Education

|  |   |
|--|---|
| <p>特別支援教育特別専攻科<br/>Course of Special Support Education</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害教育専攻<br/>Developmental Disorders</li> </ul> | <p>&lt;専攻科の教育目的&gt;<br/>特別専攻科は、特別支援教育の充実に資するため、主として現職教員を対象として特別支援教育に関する専門の事項を教授し、特別支援教育に対する深い理解と優れた資質を備えた指導的人材を養成することを目的とする。(和歌山大学学則 第5章第91条)</p> |
|--|---|

### 全国的に高く評価されている特別支援教育の専門課程。

特別支援教育の専門教育は、国の重要課題の一つです。和歌山大学はこうした社会的要請を受け、特別支援教育特別専攻科を設立しました。本専攻科は、主に現職教員を対象に特別支援教育に関する専門的な知識と深い教養、そして教育現場ですぐに活用できる実践的能力の育成に取り組んでいます。特別支援教育特別専攻科では、特別支援教育に関する教育学、臨床学、医学、心理学、福祉学などさまざまな領域で教育・研究活動を展開しています。